

令和6年度予算編成方針

我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、社会・経済活動の正常化により景気は緩やかな回復が続くことが期待されるものの、エネルギー・食料品価格等の物価高騰、中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

こうした中、本市の財政状況は、令和4年度一般会計決算見込みにおける実質収支が14年連続の黒字になるとともに、財政健全化4指標は過去最高の健全度を確保した。しかしながら、老朽化した公共施設等の更新や高齢化の更なる進展による医療、介護等の社会保障経費の増嵩が将来にわたって見込まれるなど、本市が置かれている状況を踏まえると、依然として楽観視できない。

一方で、本市としては、第6次守口市総合基本計画において、「いつまでも住み続けたいまち 守口」を将来都市像に掲げる中で、子育て世帯の定住促進を図り、活気あふれるまちづくりの実現を目指している。このため、市政の推進にあたっては、「開かれた市政運営」、「未来への投資促進」、「さらなる行財政改革の推進」、「健康寿命の延伸」、「公民連携、自治体間連携、民間委託等のさらなる推進」、これら5つの基本方針を中心に据え、新たな政策を展開していくこととしている。

これら基本方針の実現に向け、行財政改革の指針として、「(仮称) 守口市行政経営プラン」の策定に着手したところである。同プランでは、市の保有する様々な経営資源を最大限に活用し、行政コストを抑えつつ、市民サービスの更なる向上を目指すという「行政経営」の視点を踏まえるとともに、果敢にチャレンジができる質の高い少数精鋭組織による効率的・効果的な行政運営の実現を目指すこととしており、令和6年度予算は行政経営プランに沿った予算編成を行うこととする。

各部局においては、一層の事業効果を発揮するため、これまで取り組んできた量的な見直しや削減による既存の改革手法に捉わられることなく、自治体間連携など更なる広域化やDXの推進による効率的な行政の実現など、新たな視点に基づき、あらゆる角度から徹底した議論を尽くした予算編成を行われたい。

また、新校舎建設、下水ポンプ場更新など現時点で具体化している事業のほか、未来の守口に向けた投資に今後、多くの財源を要することが見込まれる。このため、市全体での後年度負担を意識し、事業の在り方も含め、実施手法や事業費を精査するとともに、優先度をもった計画的な事業実施が求められることに留意されたい。

各部局長においては、予算編成にあたって、5つの基本方針に十分に留意し、市が所有する「ヒト・モノ・カネ・情報」の資源を部局の枠に捉わられることなく最大限活用できるようマネジメントされたい。

最後に、山積する課題を解決していく上でカギを握るのは、守口市の行政の担い手である職員一人ひとりの意思と行動であることを強く自覚し、スピード感をもって取り組むことを期待する。

市長